

盗難防止、紛失などへの対応について 参考資料

1. 施錠型ロッカーの設置

A 個人ロッカーの設置

① 教室内

(メリット)

○教室内での使用は便利

(デメリット)

○教室が手狭になる

(コスト面)

○一人1台購入なら1台7000円程度(個人負担)

○1クラス(40名分)で25万程度



② 教室外

(メリット)

○教室ではないが廊下なので便利、教室は手狭にならない

(デメリット)

○廊下が狭くなり、生徒の移動に支障の出る可能性がある

⇒防災上の課題

(コスト面)

○一人1台購入なら1台7000円程度(個人負担)

○1クラス(40名分)で25万程度



B 個人貴重品ロッカーの設置

(ア) 教室内

(メリット)

○教室は個人ロッカーよりは手狭にならない

(デメリット)

○一度に多くの生徒が出し入れすることで時間がかかる

(コスト面)

○1クラス(40名分)で15万程度



(イ) 教室外

○教室は手狭にならない

(デメリット)

○一度に多くの生徒が出し入れすることで時間がかかる

(コスト面)

○1クラス(40名分)で15万程度



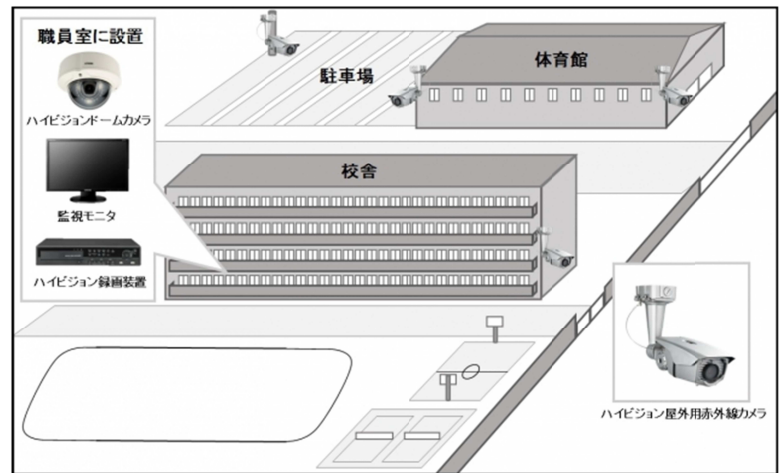
「小物入れロッカー」

- C 貴重品ロッカーの設置 体育館前、食堂前など
(メリット)
- 使用時のみの利用なので使いやすい
(デメリット)
 - ダイヤル式は暗証番号忘れがある。
鍵付きは鍵の紛失の可能性がある。
(コスト面)
 - 一人1台購入なら1台7000円程度(個人負担)
 - 18人用で12万円程度



2. 防犯カメラ

- (メリット)
- 不審者侵入、盗難防止の抑止力
(デメリット)
 - 生徒のプライバシーの保護
近隣住民の方のプライバシー保護
(コスト面)
 - カメラの台数が多いほど高額になる。
カメラ5台以上なら100万以上



3. 盗難についての生徒への指導改善 (別紙参照)

4. 盗難が起きた場合のPTA役員との情報共有

事案について個人情報の配慮し、PTA役員会にて適宜情報共有を行う。